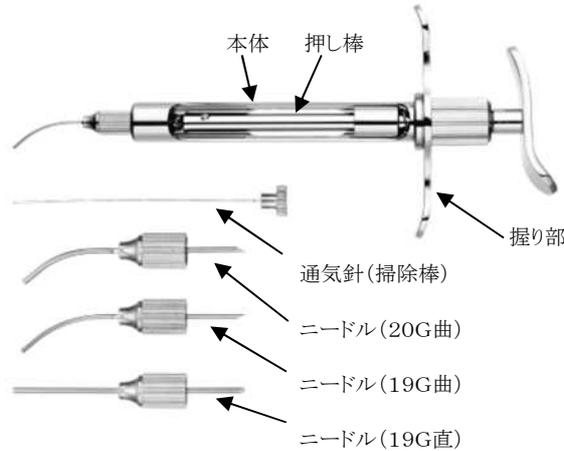


機械器具 65 歯科用充填器
一般医療機器 歯科用注入器具 JMDN70718000

寒天カートリッジシリンジ

【形状・構造及び原理等】



材質:

ニードル(19G曲、19G直、20G曲):ステンレス鋼
本体・握り部・押し棒:真鍮

【使用目的又は効果】

ボイル・ストレージした歯科用寒天印象材カートリッジタイプをシリンジ本体に装填し、印象面に注入する歯科用注入器具(カートリッジタイプ用)である。

【使用方法等】

- ① シリンジ本体にニードルを取り付けます。
- ② 寒天印象材用コンディショナーでボイル・ストレージが完了した歯科用寒天印象材カートリッジタイプを用意します。
- ③ 押し棒を引きながら、歯科用寒天印象材カートリッジタイプ(ゾル化された)を本体脇よりアルミシール側をニードル側にして先に装填します。
- ④ 印象面に注入する前に、術者又は補助者が寒天を手、爪等に少量押し出して、粘性や温度が適当かどうか確認します。
- ⑤ 形成歯牙等必要部位に注入します。
- ⑥ 注入終了後、押し棒を引きながらカートリッジを尾部より引き上げるようにして抜去します。(一度使用したカートリッジ内に、残量があり、再度使用する場合は、必ず再度ボイル・ストレージしてから使用して下さい。)

[使用方法等に関連する使用上の注意]

- ① 寒天を装填する前に本品の清掃、洗浄、滅菌、乾燥を十分にを行い、清潔に使用すること。(ニードル部分に寒天が残っていると、注入時にうまく押し出されない場合があるので、留意すること。)
- ② 破損の恐れがあるので、特にニードルの装着脱は注意して行うこと。

この部分を持って着脱
はしないこと



【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- ① 患者が誤って飲み込まないようニードル部分は確実に取り付けること。
- ② 本品に破損(割れ、ヒビ等)及び変形、腐食等のあるものは使用しないこと。
- ③ 鋭利な部分があるため、針刺等には十分注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ① 本品に水分が付着したまま長時間放置すると錆染み等の原因となることがあるので、十分な洗浄、滅菌後、水分を除去し、十分に乾燥させてから保管すること。
- ② もらい錆を防ぐために錆びている器具と一緒に収納、保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

- ① 使用前、使用後に破損(割れ、ヒビ等)及び変形、腐食等がないか確認すること。これらがある場合は、使用を中止すること。
- ② 本体、ニードル等に劣化異常を認めた場合は新しいものと交換すること。
- ③ 腐食(錆)の原因となるので、次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、ポピドンヨード、ホルマリン、フェノール、グルコン酸クロルヘキシジン、超酸性水、家庭用洗剤等は使用しないこと。
- ④ 本品は使用後、直ちに洗浄し、付着した血液、体液、組織片を速やかに除去すること。
- ⑤ 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用する。(使用上の注意参照)
種類によっては金属素材に影響を及ぼすことがあるため、製剤及び薬剤の添付文書や取扱説明書記載の用法容量に従い使用すること。
- ⑥ 洗浄装置で洗浄するときには、器具同士が接触して損傷することがないように注意すること。また、汚れが落ちやすいようにバスケットなどに収納すること。
- ⑦ 洗剤の残留がないよう十分にすすぎをすること。
- ⑧ 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥すること。
- ⑨ 本品が変質、変色する恐れがあるので、滅菌の際は留意すること。
- ⑩ 高圧蒸気滅菌は精製水を使用し、115～118℃で30分、121～124℃で15分、126～132℃で10分、134℃で3分(耐熱温度は135℃まで可)いずれかの条件で行なうこと。なお、滅菌の為のセット・包装にあたっては、確実に滅菌できるよう配慮すること。また、滅菌後は、十分乾燥させること。
- ⑪ アルコールを使用した高圧滅菌、乾熱滅菌、プラズマ滅菌は、劣化の原因となるため使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元・製造元 株式会社 シオダ
電話番号 0287-88-2288